

# 東葛西中学校応援団実践報告書

## 1 校長及び代表者氏名

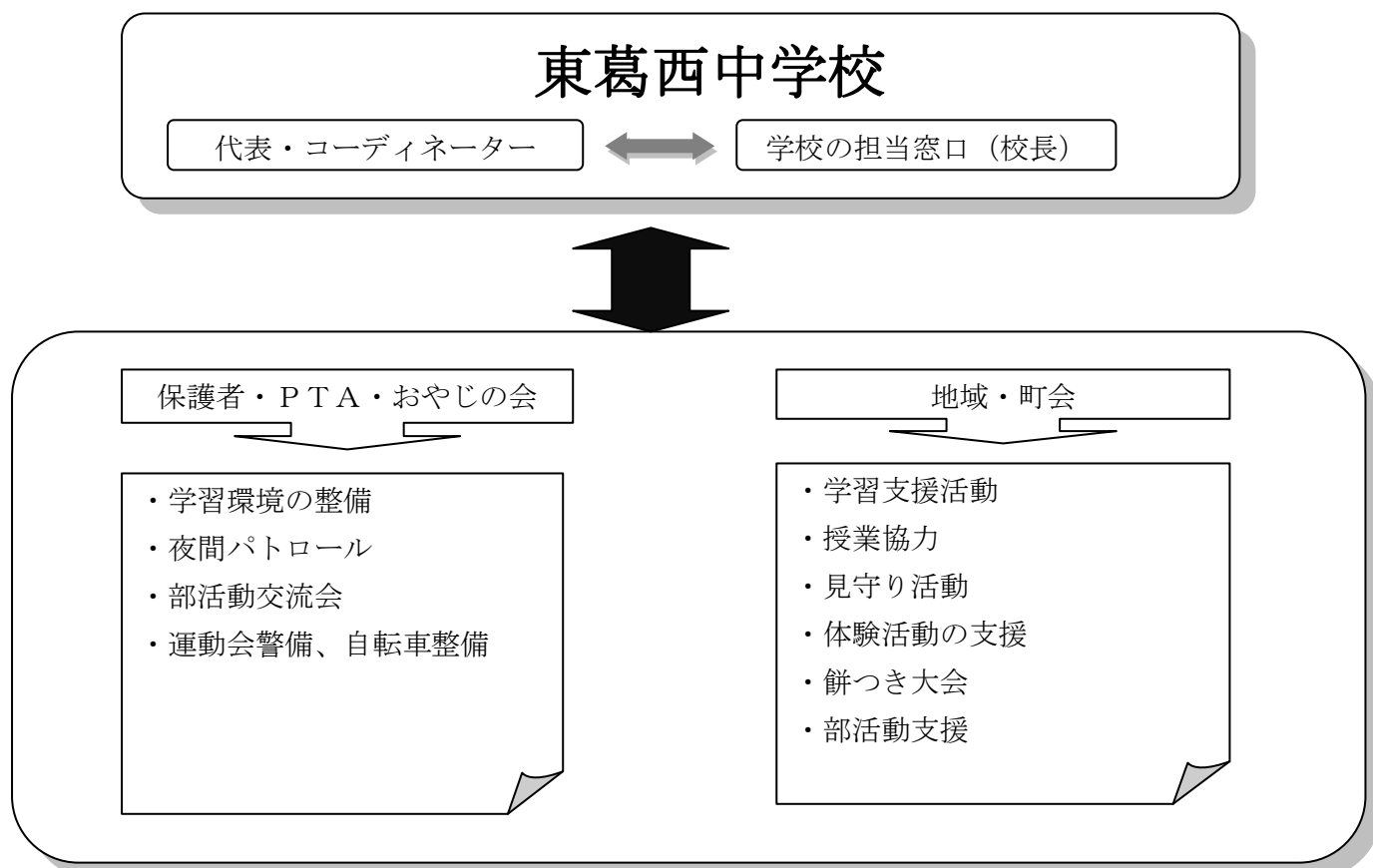
東葛西中学校長  
代表

西 敬司郎  
木下真理子

## 2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・学習活動の支援</li><li>・教育環境への支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・登校支援</li><li>・部活動支援</li><li>・美化活動</li><li>・花壇整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・別室当校生徒への学習等の支援</li><li>・部活動の技術指導、活動支援</li><li>・校内の修繕、トイレ清掃等</li><li>・花植え、手入れ、小松菜の栽培等</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・安全への支援</li><li>・見守り支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域パトロール</li><li>・声掛け運動</li><li>・餅つき大会</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・夜間等のパトロール活動</li><li>・登下校時のあいさつ活動</li><li>・餅つき大会の実施（3年生へのエール）</li></ul>

## 3 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

- ・地域、保護者が主体的に学校と関わることにより、学校の教育活動における理解と協力が得られた。
- ・学校に地域や保護者が関わることにより、適度な緊張感と信頼感が生まれた。
- ・学校に必要な人材や環境整備がタイムリーに得られるとともに、生徒にとっても見守られ感の醸成に有効である。

### <課題>

- ・人材等の発掘に時間と人手がかかり、代表や地域等に負担がかかる。
- ・善意を基本とした活動だけに、思い込みや行き違いによるトラブルが発生すると、教育活動そのものにも影響が出る可能性がある。
- ・交通費等の財政的な課題があり、幅広い年齢層や社会的地位の方々を継続的に動員することが難しい。また、学校応援団として協力を依頼できる内容が限られている。

## 5 代表より

東葛西中の学校応援団は今年度、地域の方々のお力をお借りしながら生徒や学校・保護者との協力の下、花壇や学校農園の整備を進めてまいりました。

また、近隣の小学校のお祭りに生徒が参加させていただくなど、積極的に地域で中学生が活動する方法も模索しています。

授業補助や部活動指導でも地域の方々から様々な形でお力添えをいただいておりますが、いくつかの活には卒業生が指導にきてくれています。熱心に後輩を指導する姿はとても頼もしく、小さなところから少しずつ、東葛西中の輪が広がっているような気がします。

今後も、学校・保護者・地域がそれぞれの役割や特性を活かし、東葛西中の子どもたちを育てるとともに、応援団も一緒に育っていかれたらと思っています。

## 6 学校長より

「地域」「保護者」が車の両輪となって走る姿こそ、地域に根ざした教育活動であると思います。

学校にとって何が必要なのか、また、地域や保護者が子どものために何ができるのか、それら相互の思いを学校応援団運営委員会という話し合いのテーブルに乗せられることは、とても有意義なことです。部活動や学習への支援を通して多くの生徒たちに関わっていただくことで、まさに地域に根ざした教育活動が実践されていると感じます。学校応援団代表には大きな負担になるかもしれませんが、学校と地域との太いパイプ役を果たしていただいている点で、その働きは重要です。

学校応援団が、生徒の健全育成と地域の後継者づくりに資する組織となるよう、手を携えてがんばっていきましょうと思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。